

少年初段受験平成

平成27年4月5日

「父母について」

西東京本部 浜田山支部  
大井皓太郎

ぼくは、お父さんとお母さんにすごく感謝しています。ぼくが空手を始めたきっかけは、お父さんが「男子たるもの武道の一つぐらいやったほうがいい」と言っていて、何かいい武道をないかなあと思って探していたら、近所の方が空手をやっていた。その近所の人に誘われて見学に行ったら空手に興味を持ちました。

ぼくは、空手に行くほとんどの確率でお父さんにおこられます。例えば、ちゃんとかぶしをにぎりなさいとか、あいさつはしっかりしなさい、だとかいろいろなことを言われます。でも、家ではやさしくておもしろいです。ぼくはそんなお父さんが大好きです。

お母さんは、練習の時お茶を用意してくれたり試験のときはお弁当を用意してくれたりします。空手から帰ってきたらご飯を作ってくれて、そういうことでサポートしてくれるのをぼくはありがたく思っています。

何か困った時は、相談にのってくれたり、はげましたりしてくれて、だからぼくは今、空手をつづけられているんだと思います。お父さんにおこられて、もういやだと言った時、はげましてくれたのもお母さんでした。黒帯をとったら笑顔で今まで空手をつづけさせてくれてありがとう、と言いたいです。

ぼくは、お父さんとお母さんのことが大好きです。